

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県 三田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	45.96	4.27	92.77	2,277

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
108,387	210.32	515.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,600	1.91	2,408.38

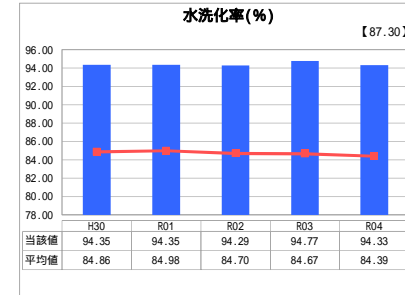
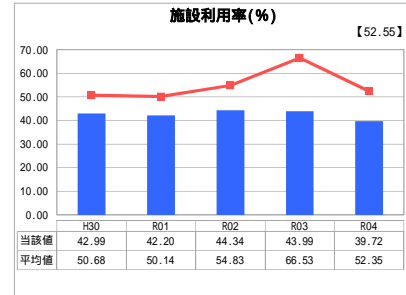
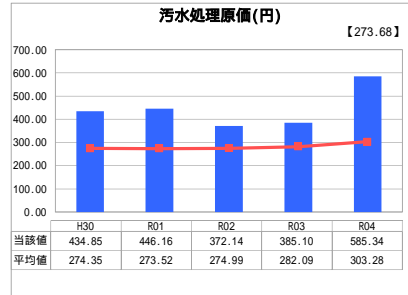
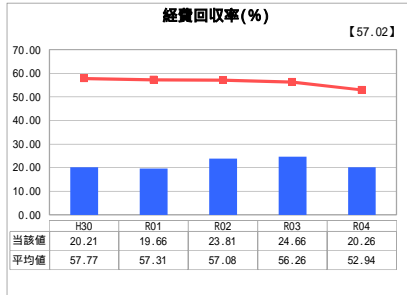
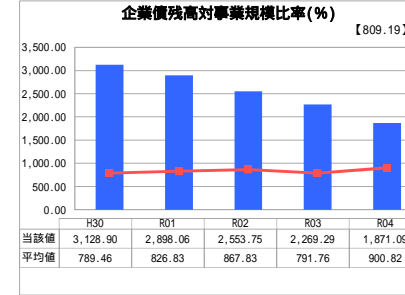
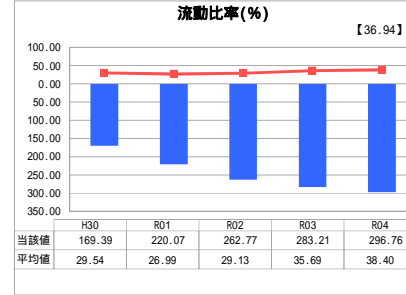
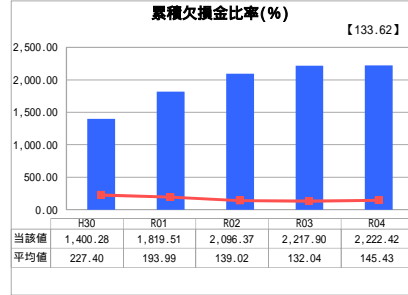
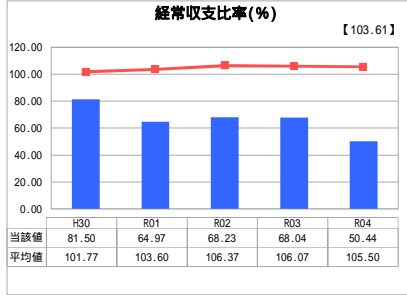
グラフ凡例

当該団体値(当該値)

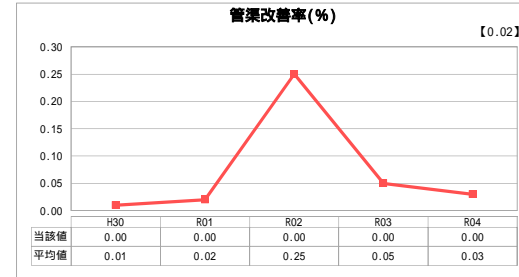
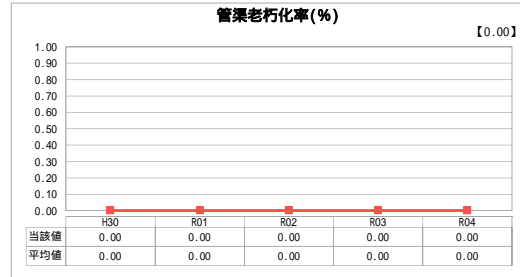
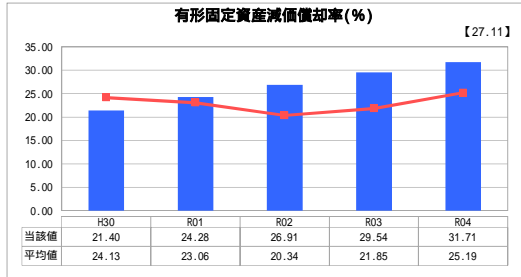
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水については、市内8処理区8処理場を所有しています。経常収支比率、経費回収率、施設利用率等いずれも類似団体に比べ低く、汚水処理原価は高い状況にあり、効率が悪いことを示しております。地理的条件から区域統合は困難となっています。唯一類似団体と比較して良い点は、水洗化率が高いことですが、人口減少、生活様式の変化によって使用料も減収傾向であり、増収は見込めないため、さらに経営改善を図っていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水の着手は平成5年であり、耐用年数を経過した管渠資産はありません。一時期に整備した資産が多いことから、施設更新は標準化を図るなど計画的に進める必要があります。そのため、最適整備構想に基づき管渠等の施設の計画的かつ効率的な管理、及び改築更新を進めていきます。

全体総括

人口減少や生活様式の変化等により、使用料収入は減収が予測されます。また、効率の悪い事業が経営を圧迫してきていることから、財源の確保が必要です。今後の下水道事業の方向性を示した「下水道ビジョン」や投資・財政計画である「経営戦略」に基づき、令和3年10月に使用料改定を実施しました。今後適宜、経営戦略等を見直し、経営改善を図っていきます。

「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。